

ワークショップと「地域別実行計画」の関係

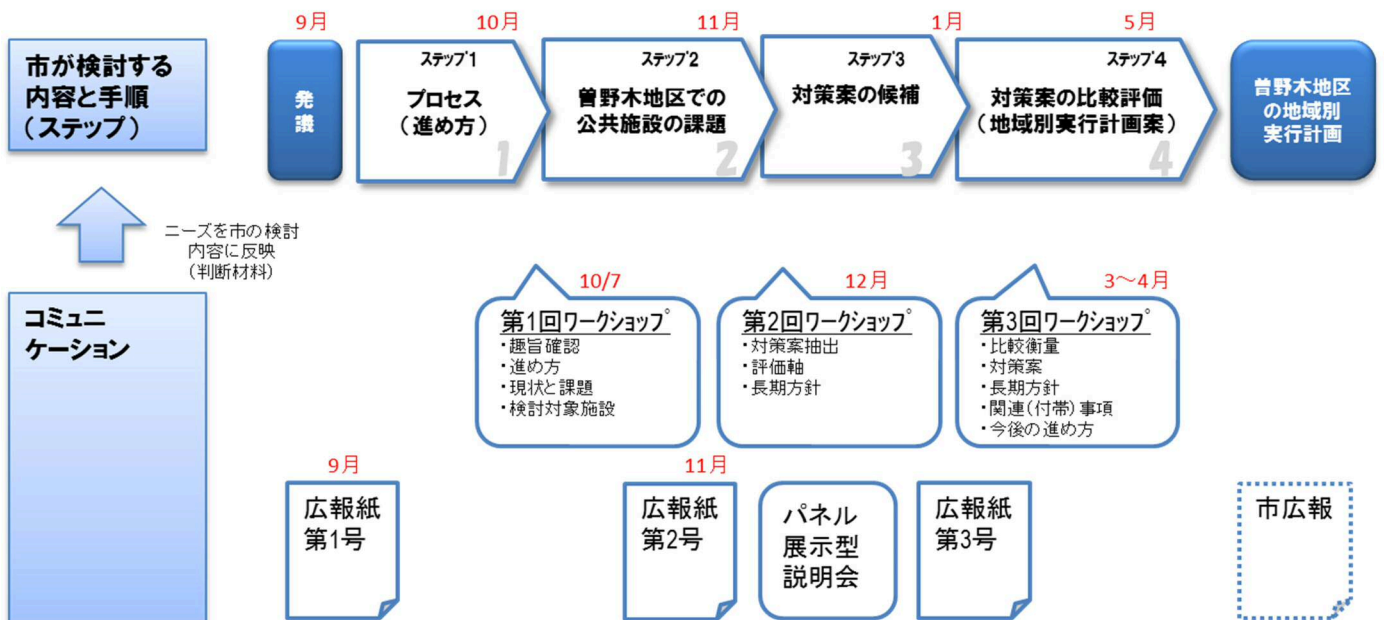
● 地域の皆さんとの協働で地域の計画を策定

平成27年7月に策定した「財産経営推進計画（公共施設マネジメント編）」では、中学校区を基本単位とした地域ごとに、地域市民の皆さんと協働で、身近な公共施設の最適化に向け、将来のあり方を示す「地域別の実行計画」を策定するとしています。

ワークショップは、この実行計画を策定するにあたり、市民の皆さんと市との協働を実現するための重要な機会のひとつです。

● 検討のスケジュール

市は、ワークショップで得られた成果をもとに、次の4つのステップに分けて検討を行い、「地域別の実行計画」を策定します。



- ※ 市はステップ毎に検討を進め、最終的に地域別実行計画を策定します
- ※ ワークショップ、広報紙、パネル展示型説明会など多様な方法で、市民の皆様とのコミュニケーションを図り、その成果を検討に反映します
- ※ スケジュールは状況に応じて更新します

● コミュニケーション

「地域別実行計画」の検討では、地域の皆さんとさまざまなコミュニケーションを進めていきます。

・ ワークショップ（WS）

ステップ毎の検討の内容について、参加メンバーの皆様の間でグループ討議を通じてご議論いただき、その成果をとりまとめます



・ 広報紙（ニュースレター）（NL）

ワークショップや市の検討の状況を地域の皆様にお伝えするための広報紙です。

・ パネル展示型説明会（オープンハウス）（OH）

公共施設などで検討の状況を示したパネルを展示し、集まられた地域の皆様に詳しい状況をお伝えします

● ワークショップの概要

- ・ ワークショップは、平成29年3月までに3回程度開催の予定です。
- ・ 開催は、平日午後の予定です。（変更する可能性があります）
- ・ 開催会場は、原則として「曾野木地区公民館 3階 ホール」を利用します。
- ・ 事務局は、「江南区地域課、新潟市財産活用課」が担当します。
- ・ ワークショップには、コミュニティ協議会の役員、地域内の自治会、小中学校PTA、地域教育コーディネーター、地域内の公共施設利用団体などから推薦を受けた方などが参加します。
- ・ 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ・ ワークショップでは、参加者の皆さんにグループ討議で自由にご議論いただけます。
- ・ 一般の傍聴者や報道陣が会議を傍聴することもあります。

● 会議の進め方

- ・ グループ討議の運営では、円滑な議論のため、第三者的立場のファシリテーター（司会進行）がお手伝いします。
- ・ ワークショップでは、グループ毎に議論を重ね、会の最後に各グループの議論の結果を発表し、後日、各回の成果として取りまとめます。
- ・ グループ討議の途中での議論は記録を取りませんので、自由闊達で前向きな議論をお願いします。
- ・ 市に対する要望・陳情の場ではありません。
(管理上の都合から会場内で録音・撮影する場合があることをご了承ください。)

● ワークショップの成果

- ・ ワークショップの各回の成果については、記録として残します。
- ・ ワークショップでの議論の成果は、ステップ毎に市が検討する際の基礎情報として活用します。

(参考) ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いいたします～

篠田 さやか	オフィスキュア
小口 優子	有限会社 まち処計画室
坂本 千晴	株式会社 C・ROW (シロウ)
水戸部 智	NPO 法人柏崎まちづくりネットあいさ
桑田 正寛	NPO 法人柏崎まちづくりネットあいさ
宮 沙織	NPO 法人柏崎まちづくりネットあいさ

※ 毎回の担当者はこのうち3,4名となる予定です

ワークショップへの参加にあたって（案）

話し合いに積極的に参加しましょう

自分の考えを率直に述べましょう

前向きな思考で発言しましょう

評論家ではなく当事者として関わりましょう

他の参加者の意見に耳を傾けましょう

気持ちよく運営できるよう協力しましょう

議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

（必要があれば追加しましょう）